祝「みやぎSDGsアンバサダー」認定！
「わたしのSDGs活動宣言」Vol.27

地域の魅力をSNSで
山一地所　熊谷健太郎さん

私はSNSマーケティングに従事していた経験があり、陰で輝くものを広く認知させることができます。その経験を生かして現在は自社が運営するSNSアカウントを統括しています。

配属している企画課の活動は多岐にわたりますが、広報活動だけではなく、当社が掲げるMISSION「不動産を通じて人と地域をつむぐ」に基づき、地域とのつながりや発展を願い、地域に貢献できる社外活動も行っています。

約半年間みやぎSDGs Farmのプログラムを経験していく中で、自分の専門分野が経済発展や地域の課題解決に寄与していることに気付きました。そのヒントとなったのがYouTubeで得た地域の情報を参考に旅行をしている両親です。

地元に住んでいる人にも知られてなく、陰になっている名産品や観光地はいくつも存在します。輝くものを広め、発信できるのがSNS最大の特長です。今や日本のSNS普及率は80％を超え、老若男女が情報を得るツールとして成長しています。

一人では地域の魅力を伝えることはできませんが、みやぎSDGs Farmで出会った企業と持続可能なパートナーシップを結び、地域の課題解決と共同企画を行いながら、経済発展に貢献する情報発信をしていきたいと考えています。

まずは目の前のことを一生懸命に
宮城県民共済生活協同組合　草薙聖樹さん

令和6年1月、テレビに衝撃のニュースが流れてきました。能登半島を震源とする地震です。緊迫した津波警報や大規模火災の映像に心を痛めると同時に、13年前の東日本大震災の記憶が蘇りました。

当時仙台市内にいた私は、突如襲った周りのビルが波打つほどの激しい揺れに恐怖を感じました。それから時間が経つにつれて、深刻な状況を目の当たりにすることとなりました。揺れや津波による甚大な被害、日々の生活もままならない避難者、先行きの見えない状況に誰しもが不安を感じていたと思います。

私はあの震災によって、あらためて宮城県民共済が行っている事業の意義を認識しました。共済は小さな掛金で暮らしの安心を守るものです。誰にでも起こりうる万一に備え、その再建のための手助けとなる共済を広めていくことが、私たちの社会的な役割だと思います。

今回みやぎSDGs Farmに参加したことにより、宮城県民共済の行っている事業が、安心して暮らせる環境づくりと地域社会への貢献として、SDGsに深く繋がっていることに気付きました。この事業に誇りを持ち、サステナブルな社会を目指すため、少しでも多くの方々に宮城県民共済を知っていただけるよう努めてまいります。

大切なのは自分で考えるということ
尚絅学院大学　大沼晃太郎さん

私の趣味はスニーカーを収集することで、日々SNSの情報を追い求めています。先行情報やコラボモデルが出ると、たまらなく購買意欲が湧き購入してしまいます。

どうして、こんな私になってしまったのでしょうか。もしかすると皆さんにもつい買ってしまうモノがあると思います。

現代社会では、広告が私たちの購買意欲をつくりだし、過剰生産、過剰消費をもたらしています。その結果、売れ残りや使い切れないモノは大量に廃棄されています。これは私たちが望んでいることでしょうか？

大学の授業でエシカル消費という言葉を初めて耳にしました。これは自分の消費行動が環境や人、社会、地域に与える影響をしっかりと考えることを意味しています。食材を購入する際は、自ら考えて産直コーナーで買っています。ですが、スニーカーを買う際は操られているかのようにポチっと購入ボタンを押してしまいます。

今、必要なのは私たち自身が世界で起こっていることを知り、何が必要なのかを考え、何を買うかを自分自身で決める力だと思います。SDGsはそれを気づかせてくれました。

これまでの便利で快適なライフスタイルに疑問を持ち、サステナブルな生き方を追い求めていきます。

みやぎSDGs Farm

みやぎSDGs Farm

国連が提唱する「SDGs（持続可能な開発目標）」を軸に企業や個人が連携し、より豊かな地域づくりを目指す取り組み「みやぎSDGs Farm」の基幹プログラムです。SDGs活動を推進する人材「みやぎSDGsアンバサダー」を養成するなど、2021年から河北新報社が運営しています。

詳しくはこちらから

賛同企業
＼募集中!!／

［申し込み・問い合わせ］
河北新報社営業局
TEL. 022-211-1318
koukoku@po.kahoku.co.jp